

治療にあたっての注意事項

- 1 高熱のある時、飲酒時、極度の疲労時は治療の効果が期待できません。

このような時にご連絡ください。

- 2 食事はなるべく治療の1時間前にまでにとるようにしてください。

- 3 腹部や腰背部に施術することがあります。肌を出しやすい服装でお越しください。
希望がございましたら着替えのご用意もごさいます。

- 4 鍼治療には血液循環を改善し身体の代謝を高めて老廃物を排出する効果があります。そのため治療直後から次のような副作用が起こる可能性があることがあります。いずれも一過性の反応ですが24時間以上経過しても同じ症状が続いたり症状が悪化する場合は鍼治療以外の原因が考えられますので、速やかに医師の診察を受けてください。

◇しばしば遭遇する鍼の全身性の副作用（いずれも一過性）

疲労感・倦怠感 眠気 主訴の悪化 刺鍼部のかゆみ
めまい・ふらつき 気分不良・嘔気 頭痛

◇しばしば遭遇する鍼の局所性の副作用（いずれも一過性）

微量の出血 刺鍼時痛 皮下出血 施術後の刺鍼部痛
皮下血種

- 5 当院で鍼治療は髪の毛ほどの極細い鍼を使用しています。また単回使用のステンレス製のディスプレイ鍼を使用し感染を防止しています。

- 6 当院では筋肉の血行を改善したり、痛みを鎮めたり、反射によるホルモン分泌や自律神経の調節を目的とし鍼通電療法を行うことがあります。
ペースメーカーを使用している場合 知覚脱失のある場合 重篤な動脈疾患のある場合 妊婦 原因不明の発熱 強い皮膚病変のある場合は鍼通電は禁忌となっております。
事前にお伝えください。

- 7 鍼治療により、ときに出血及び内出血が起こります。薬剤または病気により出血傾向が著しい方は注意が必要ですので担当者にお申し出ください。通常、内出血は1~2週間程度で治り、身体への悪影響はございません。
治療中に内出血が認められた場合は適切な対応をいたします。
皮膚の比較的深い部分の血管が損傷した場合はすぐに内出血となって現れず、数時間後または翌日以降に現れることがあります。美容はりの施術後はお顔への強い刺激を避け優しくいたわるようにしてあげてください。
微細血管の破綻による内出血を完全に防ぐことはできません。施術後に写真撮影などのイベント予定のある方は施術前に必ずお申し出ください。

- 8 金属アレルギーは金属が持続的に皮膚に接触している場合に起こります。
鍼治療では皮膚との接触面が非常に少なく接触時間も短いのでアレルギー反応はほぼ起こりません。また使用する鍼はステンレス製ですのでこちらもアレルギーを起こしにくいものとなっております。

- 9 アルコール消毒で赤くなったり痒みを起こす方はお申し出ください。